

第33回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨

開催日時 令和6年2月29日(木) 10:00~12:00

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 F・G, WEB

<議事等>

1. 移動性関係議題について
 - 1-1 TDM 施策について
 - 1-2 主要渋滞箇所の今後の取り扱いに関する検討
2. 安全性関係議題について
 - 2-1 第32回委員会における主な指摘事項と対応
 - 2-2 令和5年度合同現地診断結果について
 - 2-3 路面標示の検討について
 - 2-4 ゾーン30プラスについて
 - 2-5 事故危険区間の対策完了(卒業判定)
 - 2-6 今後の事故ゼロプランの進め方について



<主な意見>

1. 移動性関係議題について

1-1 TDM 施策について

委員 ○今回は大きい事業所を対象を絞っているが、小さい事業所を対象外と割り切らずに検討は進めて欲しい。

○日立市はゼロカーボンシティ宣言を表明しており、日立製作所なども二酸化炭素の排出削減に向けて動いていることから、昔よりも連携・協力がしやすい状況になってきていると思うので考慮に入れて動いて欲しい。

事務局 ○自治体とも協力しながら、幅広にアプローチをしていきたい。

委員 ○ハード対策については随時可能なところを進めていくと同時に、ソフト対策としては、時差出勤や公共交通への転換などを考えて欲しい。

委員長 ○同じ8時台の中でも交通状況が違うという実感は皆さんもあると思う。渋滞の細かな時間的変遷が分かるような分析は行って欲しい。

○もっという1週間の間や季節の違いでどのような変化があるのも気にはなる。

○日立市にもこの議論に参加できるような枠組みは考えた方が良くかもしれない。

○信号については細かくマネジメントされているのか。

委員 ○日立市内であれば道路管制センターで制御しているが、資料の通り渋滞は発生している状況。

委員長 ○交通量の状況もわかれば良いと思うので、警察で持っている情報があれば提供して頂けるとありがたい。

事務局 ○事務局でもトラカンの情報があるので、随時調整していきたい。

1-2 主要渋滞箇所の今後の取り扱いに関する提案

委員 ○前回までは、長い区間、短い区間が入り混じっているものをある程度長さをそろえ、信号2回待ちを渋滞と定義して判定を行ったところだが、今回は代表区間で検

証してみても、結果、精度が上がっていると確認できたということで良いか。

事務局 ○精度が上がっていると考えています。

委員 ○私も今回の事例で従来手法より精度が上がっていると感じた。ただ、検証したのはあくまでも10箇所程度のサンプルで全箇所ではないため、結論が悩ましい。指標を変えたことで入れ替わりが発生する箇所については、細かく分析しても良いと思うし、今後の進め方をどのように考えているか。

事務局 ○現在提示している手法で閾値15km/hを基本に進めたいと考えている。ただ、分析箇所のサンプルについては、補完して提示したい。

○信号の現示についても分析をしたいが、県警にも協力いただけるとありがたい。

委員 ○事務局から提示している基本方針で進めていくのはその通りだが、皆さんの実感とあっていることが重要かと思うので、それが示せるように分析を進めて欲しい。

委員長 ○自治体の方も詳しく情報も持っていると思うので、相談してみても良い。

事務局 ○引き続き検討を進め改善案を提示させて頂く。

委員 ○雨の時と晴れの時では交通の状況は違うかと思う。近年はゲリラ豪雨や冠水など気候変動も問題視されている。天候の違いによる交通状況の違いの分析はされているのか。

事務局 ○行っていない。

委員長 ○冠水危険箇所などのマップはあるのか。

事務局 ○事務所や県で公表しているものはある。TDMの話題でも上がったが、もう少し細かな分析は進めていきたい。

2. 安全性関係議題について

2-1 第32回委員会における主な指摘事項と対応

委員長 ○ポスター・チラシ案は今後、色々な場所に貼り出すということで良いか。

事務局 ○HPやSNSなどできるところから進めていこうと考えている。

委員 ○我々のような交通安全の団体であれば比較的多くの人に配りやすい。ぜひPRなどで調整頂きたい。

事務局 ○ありがとうございます。今後、調整させて頂く。

委員長 ○事故の情報発信について、光ビーコン以外では特に事故の情報発信はしていないということか。高速を走っているとETC2.0で注意喚起の情報が出てくるが、そのレベルで一般道で情報発信があれば良いと感じたが。

事務局 ○一般道では情報発信出来る施設が少ないため、適切な場所があれば調整したい。

2-2 令和5年度合同現地診断結果について

○特になし

2-3 路面標示の検討について

委員 ○横文字の2段書きの場合はどこから読んでいいかわかりにくいかもしれない。

委員長 ○幅員が確保できれば1列にするのが良いのかもしれないが、現地状況に合わせて適宜検討して実施すれば良いと思う。

委員 ○横文字の2段書きにするならスペースを使って文字を大きくしても良いのではないのか。

事務局 ○頂いた意見を踏まえ、対策に反映したい。

2-4 ゾーン 30 プラスについて

- 特になし

2-5 事故危険区間の対策完了（卒業判定）

委員 ○卒業判定の表では実施した事故対策内容の記載が無いが、事故がこれだけ減っているというのは具体的に取り上げて PR しても良いと感じた。

事務局 ○今後検討させて頂く。

2-6 今後の事故ゼロプランの進め方について

委員長 ○再対策のルールを変えるのであれば、事故が 4 割減少しないことが分かった時点で、対策検討のフローに載せてもよいと思う。

- 一度選定した箇所を見直す場合の具体の事例を示して欲しい。

事務局 ○周辺の交通事情が変わったこと等が考えられる。改善案を次回の委員会で示させて頂く。

以 上